

とうめい news

2023.12.1
Vol. 268

〒248-0034 厚木市船子237
TEL. 046-229-3377
発行者:河野 昌史
編集責任者:佐藤 賢治
印刷: (有)タイム21

ホームページアドレス <http://www.tomei.or.jp/clinic/>

野鳥 アカゲラ

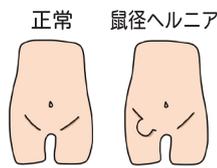
全長 24cm。黒色・白色・赤色の模様をした中型のキツツキ。留鳥として北海道と本州に生息し、林で単独またはつがいで行動している。木々を移動しながら昆虫やクモ類、種子などを食べる。

TOPICS

“じゃないほう”のヘルニア ～鼠径部ヘルニア～

消化器外科: 田澤 賢一

読者の皆様の中には、ヘルニアと聞くと首や腰の痛みが出る病気を第一に考える方が多いと思います。そんな中、今日は“じゃないほう”のヘルニア、鼠径部（そけいぶ）ヘルニアのお話をいたします。



<鼠径部ヘルニア>

鼠径部とは足の付け根の部分、ヘルニアとは本来あるべきところから外へ飛び出してしまう状態の総称です。

足の付け根の壁にはもともと穴が開いており、体の中にあった精巣が体の外の陰嚢に下りるための通用口でした。お母さんのお腹の中で普通、この穴は閉じてしまうのですが、うまく閉じなかった、一旦閉じた穴がまた開いてしまったというのがこの病気の正体です。

故に男性にこの病気が多い傾向にあります。背骨と背骨の間の軟骨が飛び出し神経を圧迫する首や腰の“椎間板ヘルニア”とは名前はよく似ていますが、全く別の病気です。

具合の悪いことに、この穴からお腹の臓器、主に小腸などが飛び出すことが多く、脱腸（だっちょう）という俗称で一般に普及しています。

<症状と治療法>

足の付け根の腫れだけで、他の症状がない場合や高齢者の症例などで経過観察を行う場合もあります。しかし、痛み、違和感、吐気、嘔吐などの各種の症状が出る場合や硬く腫れ、熱を帯び、元に戻らない嵌頓（かんとん）という場合には、薬、包帯、腹巻、バンド等の保存的治療でこの病気が治ることはなく、用手的整復（穴にはまった臓器をお腹の中に戻す）や手術の適応となります。

<手術法>

手術にはふくらみの直上を切る前方到達法と、おへそを利用して、鉗子（かんし）という細い棒とカメラを用いる腹腔鏡（ふくくうきょう）下手術（後方到達法）とがあり、どちらもメッシュという網目構造の網戸のようなポリプロピレン製シートで穴を覆って、固定します。

当院では全身麻酔が可能でおなかの癒着が少ない症例では腹腔鏡下手術を第一選択としています。腹腔鏡下手術は小さな傷で済み、痛みが少なく、早期社会復帰が可能です。手術前日に入院し、術後2日目に退院という3泊4日のスケジュールを組んでいます。個人差がありますが、1-3週間以内にはもとの生活に戻れる患者さんが多いです。ときに、出血、感染（創部、メッシュなど）、再発、潜在的異常の顕在化、既往症の悪化、血栓症などの合併症が発生した場合、入院期間や社会復帰までのお時間が延長します。術後の慢性神経疼痛（三か月以上続く創部痛）や漿液腫（患部に体液が溜まる）なども最近注目され、良性疾患ですが、定期的な術後フォローが大変重要です。

近年日本国内でもお腹の手術でロボット支援下手術が普及し、米国ではロボット支援下手術の多くの割合をこの鼠径部ヘルニア手術が占めています。しかし、日本ではまだ鼠径部ヘルニアのロボット支援下手術は保険未収載です。今後の診療報酬改定の動向に注目が集まっています。

足の付け根が“ぼこっ”と腫れて、“あれっ？”と思ったら、一度当院消化器外科の外来にお越しいただけますと幸いです。これからも地域住民の皆様のご健康を第一に考える病院でありたいと考えております。最後までご拝読いただき、誠にありがとうございました。

